

質問要旨

各地区の人口に差がある中、ファシリティマネジメント優先でこの政策を実行していったいいのか。

答弁要旨

本市が保有する公共施設は、設置目的が様々であり、ご指摘のように、学校や保育所等の^{地域}居住人口を踏まえたサービス提供が必要な施設もございます。

一方で、お尋ねの地域振興センターと地区会館の複合化につきましては、施設の老朽化への対応のほか、地域コミュニティの拠点機能や防災機能の強化を図るための取組として進めているものがございます。

こうしたことから、複合施設の配置数やその規模につきましては、人口の多寡に関わらず、また、公共施設マネジメント基本方針に定める延床面積を今後35年間で30%以上削減するという目的がある中においても、施設の整備目的を果たすために必要になる規模として、中央地区を除く各地区にそれぞれ^{等しく}1か所、同規模の施設を建設することとしているものでございます。

以上

(岩田 副市長答弁)

西藤 議員 1002

作成部局 資産統括局 No.1

質問要旨

競馬組合からの配分金や周辺整備事業負担金の
用途について検討しているのか。

答弁要旨

お尋ねのうち、競馬組合からの配分金につきましては、組合の収益の中から、競馬の施行権を持つ本市へ配分されるもので、その用途につきましては、特定の地域や事業に限定するものではなく、市全体のまちづくりのための財源として活用するものでございます。

その配分金は、売上の低迷により、赤字経営となったことから、平成17年度以降、凍結された状態が今日まで続いております。

現在は、収益の改善に伴い、累積赤字は解消されましたものの、これまで手を付けられておりませんでした、施設の耐震改修などへの対応のため、収入金が使われ、配分金としては、未だ復元されてございません。

(次ページへ続く)

配分金の復元の時期や金額の規模が明らかではない現在において、どのような事業の財源に充当するかなどの具体的な検討はいたしておりません。

一方、周辺整備事業負担金につきましては、競馬場周辺整備事業として整備する道路や公園を定めた覚書に基づき、組合から事業費の1/2相当額の収入があるものでございます。

ご指摘のとおり、この覚書の変更により道路や公園以外の事業を行うことは可能ではありますが、負担金が大幅に縮小している一方で、施行区域には、なお整備すべき道路や公園があり、また負担金の増額の時期や規模が明らかでない現時点におきましては、道路や公園以外の具体的な用途を検討することはいたしておりません。

以上

質問要旨 特色ある施設の設置をトータル的に考えると、どの地域も統一して同じでいいのか。

答弁要旨

先ほども、ご答弁申し上げたとおり、地域振興センターと地区会館の複合化につきましては、施設の老朽化への対応のほか、地域コミュニティの拠点機能や防災機能の強化を図るための取組として進めているところであり、施設の整備目的を果たすために、中央地区を除く各地区にそれぞれ^{等々}1か所、同規模の施設を建設してまいります。

以上

西藤議員 2002 問目 作成部局 市民協働局

質問要旨 全ての地区会館の利用状況や稼働率が多い順について

答弁要旨

平成28年度における地区会館の利用状況について、まず利用件数及び利用人数の多い施設順に申し上げますと、

小田地区会館：利用件数 4,686 件、利用人数 85,528 人

園田地区会館：利用件数 4,001 件、利用人数 82,429 人

中央地区会館：利用件数 3,147 件、利用人数 76,939 人

立花地区会館：利用件数 2,681 件、利用人数 52,843 人

武庫地区会館：利用件数 2,169 件、利用人数 51,564 人

大庄地区会館：利用件数 2,157 件、利用人数 50,129 人

でございます。

次に利用率が高い施設順に申し上げますと、

園田地区会館 48.3%、小田地区会館 46.3%、中央地区会

館 34.1%、立花地区会館 29.1%、武庫地区会館 26.3%、

大庄地区会館 25.9%でございます。

以 上

質問要旨

市民ニーズに応えるべきではないか。

答弁要旨

地域振興センターと地区会館の複合化の取組にあたりましては、平成23年11月に「素案策定の基本的な考え方」の公表以降、2回のパブリックコメントや、40回に及ぶ市民説明会のほか、市民アンケートなどを実施してまいりました。

施設整備の検討にあたりましては、複数案の配置場所を提示し、市民・利用者のご意見を聴取するとともに、厳しい財政状況の中、施設の規模やその機能についても、可能な限り、市民・利用者のご意見の反映を行ってきたところでございます。

従いまして、ご指摘の市民ニーズへの対応につきましては、一定行ってきた経緯もあることから、各地区に複合施設を1か所ずつ整備するという現在の取組を今後も進めてまいります。

以上

質問要旨

消防署がその機能を十分に発揮し、その役割を果たすためにはどのような場所に設置すべきと考えるのか。

答弁要旨

消防署^所の配置につきましては、災害現場までの到着時間を考慮し、一刻を争う日々の救急救命、消防活動を迅速かつ円滑に行うため、市域にバランスよく配置すべきであることは申すまでもございません。

その中でも、島之内地域は猪名川と藻川に囲まれた地域であることを重視しており、有事の際には当該地域に消防署^分が存在することが、即時の初動体制確立には欠かせないものであると考えております。

なお、各消防署^所において、水害による浸水が予測される場合には、災害活動を継続させるため、消防車両をはじめ、必要資機材、人員を消防署^所から一時退避させる等により対応してまいります。

以上

質問要旨

競馬組合からの配分金や周辺整備事業負担金などを、利用可能な範囲で、地域住民の期待に応えられるよう利用できないか。

答弁要旨

各地区地域振興センター、地区会館の複合化の取組にあたりましては、素案の検討段階から、パブリックコメントはもとより、市民アンケート、各地区での説明会などを丁寧に行い、地域の皆様のご意見の聴取に努めてきたところでございます。

園田地区につきましては、私自身も含めまして、これまで数年にわたって幾度となく、地元の方との協議の場に出てまいりましたが、現在のところ、藻川の西側と東側の意見集約には至っておりません。

(次ページに続く)

その過程において、他の地区との均衡を保ちつつ、地域のご要望に対応できないかということで、かねてから課題のありました北消防署園田分署を建替え、その3階には市民の方が広く利用できるホールを設置するという案を地元へ提示し、一時期は間取りの協議までさせていただきましたが、最終的にご了解をいただくには至りませんでした。

今後とも引き続き、地域の皆様と協議を継続してまいります。複合施設に入る地区会館機能とは別に、同様の機能を有する公共施設を、園田地区についてのみ、配分金を用いて、あるいは1/2の税負担を伴う周辺整備事業により建設するといった手法につきましては、現在の競馬組合からの収入状況からも困難であります。

以 上

質問要旨

土地の売却差益を使って、新たなコミュニティ施設の
財源にすればどうか。

答弁要旨

本市が進めております「公共施設の最適化に向けた
取組」の基本的な考え方といたしまして、廃止施設の跡
地につきましては、複合施設の建設に係る財源として活
用することとしており、議員からご提案頂きました新たな
コミュニティ施設を建設する財源に充当する考えはござ
いません。

また、消防署^分を尼崎東高校跡地に移転させる考えも
ございません。

以上

質問要旨

(平成33年度から入る)競馬組合からの配分金や周辺整備事業負担金により、地域住民等が主体となって運営する施設を検討してはどうか。

答弁要旨

まず、配分金や周辺整備事業負担金につきましては、これまでの実績でもありますように、競馬場の収益によって大きく増減する可能性がございますことから、その財源を頼りに、経常的な経費、ランニングコストに充てるといったことにはなじまない性質の収入でございます。

また、先ほどご答弁いたしましたとおり、この度の各地区複合施設の取組にあたりましては、複合施設に入る地区会館機能とは別に、同様の機能の施設を、園田地区についてのみ、配分金を用いて、あるいは1/2の税負担を伴う周辺整備事業により市が建設するといった手法は、現在の競馬組合からの収入状況からも困難であります。

以上

西藤議員 2008 作成部局 都市整備局 No.1

質問要旨 園田駅前の土地の買収の目的とその進捗状況はどうか。

答弁要旨

お尋ねの事業は、阪急園田駅北から東園田6丁目地内の豊中市境を結ぶ、都市計画道路園田豊中線整備事業で、昭和57年度に事業認可を受け、駅周辺の交通混雑の緩和・良好な市街地の形成を図るべく整備を行っております。

現在の土地の取得率は、約91%となっており、平成28年度には、任意買収により2件の土地を取得するとともに、2件の土地に対し収用手続きを行いました。

今年度は、残っている土地5件、建物は8件、借家人補償7件の契約に向け鋭意交渉を行っておりますが、駅前という好条件の店舗等であることから、近接代替地の要求等により交渉が難航している状況であります。

今後も引き続き、権利者に対して交渉を継続するとともに、どうしてもご協力していただけない権利者に対しましては、順次、収用手続きによる用地取得を行い、計画的な事業執行に努めてまいります。

以上

質問要旨

駅前道路の整備と併せて、競馬組合からの財源を用いたコミュニティ施設の整備を検討できないか。

答弁要旨

繰り返しになりますが、園田地区についてのみ、複合施設とは別に、コミュニティ施設を建設することにつきましては、現在の競馬組合からの収入状況からも困難であります。

以上